



おはようロスアンゼルス

倫理研究所U. S. A. 南カリフォルニア倫理の会

10月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

Fax: (310) 323-6737

2015年(平成27年) 10月1日(木)

NO. 169



七夕祭り と 盆踊り

尾崎勝宏普及部長の温かい指揮の下、倫理の会は第七十五回二世週祭の七夕祭りとお盆の街頭音頭に参加しました。

実践報告

五班 尾崎勝宏

二世週祭が終わりました。六月から七夕飾りと盆踊りの準備を始め、多くの人の協力を頂きました。

七夕飾りでは、梅本和子さんに責任者を引き受けていただき、飾りのデザインを矢崎由起子さんにお願ひし、川田末子さんがドライブする車にて、この三名の方で、小東京まで材料の選定及び作成のアドバイスを仰ぐため、宮城県人会会長及び七夕委員会代表の米澤夫妻に会ってきていただき、後日米澤夫妻に材料を倫理オフィスまで届けていただき、細かいところまで指導をしていただきました。

そして、梅本さん矢崎さんの指導の下、倫理会員全員にて、飾り花を作る作業に取り掛かり、有志の方に至っては、自宅に持ち帰ってまで作っていただき、それにくす玉と吹き流しで形を仕上げ、指定日に、川田末子さんと矢崎さんで小東京へ吊るしに行っていたいただき、八月十四日から十八日まで七夕飾りの展示に出品しました。

私たちが倫理研究所の七夕飾りは、とても色合いがよく

シンプルかつ上品で、ひときわ目立っていました。私の採点では、他の飾りを寄せ付けず、完全に金賞に輝いていました。

八月十八日に飯田さんに飾りを取り外しに行っていたたく等々、たくさんの会員の協力があつて心にしみる素敵ない思い出が残りましたことを心より感謝しております。

盆踊りは、藤間富士子さんに先導を取っていただき、仏教会の週二回の盆踊りの講習に参加していただき、その他インターネット及びユーチューブなどで調べていただき、毎週日曜日の朝の集いが終わってから盆踊りの練習にて有志の方々の指導に当たっていただきました。

そして、今年は、踊りに着る倫理の法被を作ろうということになり、川田薫さん、末子さんの紹介により、柴邦雄さんに法被の作成をお願いしました。それに先だち氏家正子さんの機転により法被の生地を正価の半額で手に入れることができました。私も柴さんを訪ねて西南センターへ法被作成の打ち合わせ等のために、何度となく足を運びました。柴さんも体調不良にもか

かわらず法被制作を引き受けてくださり、奥様及び娘さんのグレースさんの手伝いにより、予定どおり法被を納入していただき、その法被に、あらかじめ川政和氏に書いて頂いていた「倫理」の字を、妻のよしみにコンピューターに入れてもらい、前もって会って話をしていただいたプリンティングカンパニーにEメールで送ってもらいました。こうしていろいろな方のご苦勞により、倫理の法被が盆踊りの一週間前に出来上がってまいりました。

このようにして二ヶ月半、二つの行事は楽しくエネルギーッシュに進行し、後始末を含めてすべて無事に終えることができました。関係者皆様に心より感謝申し上げます。

そして、物事に一生懸命に取り組めば、必要な時に必要な協力者が得られるという倫理の照明ができたことを大変うれしく思います。



秋津晝道 九月号

調和体

一席 咲田静子 高等部
四席 梅本豊造 々

おめでとうございます

『しきなみ』九月号

青泉集(西東京・海外)

入選 尾崎よしみ

日本語の連合スピーチコンテストわが子は
最後に見事栄冠

『秋津書道』九月号

競書

五席 滝川政和 芸術部(碧の部)

八席 長谷川公子 高等部(東京)

入選 梅本豊造 々々

入選 堀井幸江 々々

一席 立川宏子 一般部(東京) 行書

三席 脇山由希 々々

五席 竹内康子 々々

八席 大竹信雄 々々

入選 榊中恵美子 々々

入選 前田グレース 々々

入選 高橋ひとみ 一般部(東京) 楷書

入選 小倉治望 々々

入選 高橋忠彦 々々



【1席】 南カリフォルニア 咲田 静子
躍動感のある漢字とかなの調和したすばらしい作品です。

入選 香山幸子 々々
入選 井上郷子 々々



南カリフォルニア 立川 宏子

1席 立川 宏子

手本に迫りバランスが良い。



筆勢があり温か味のある好作品。

3席 脇山 由希

しきなみ短歌

疲労感ためずに姑は昼寝する八十路日頃の
平穏なる幸 塩出笑子

十年余わがさ庭辺を色どりてスペイン昼
顔今年も満開 伊澤潤子

あなたとの出会いがあつて始めたらしきな
み短歌一年が過ぐ 飯田隆

病む我を小まめに世話をする妻の後ろ姿に
頭が下がる 梅本豊造

週一度三十個ある鉢植に肥料水やり安らぎの中
責め心我も持ちきを省りみる一筋雲の延び行く
を追う 梅本和子

沙漠の風受けつつ見上げる青空に一瞬涌きて消
える白雲 門園美枝子

車窓開け春風髪に走りましょ気にはしません曇
り空とて ホン史子

母がいたただそれだけでありがたい思い出せる
はもつと幸せ 尾崎よしみ

サトウキビのかりとり終えし畑の中みんなでは
うばる母の手料理 与那覇寛雄

プエブロの天空都市に住む人のいかに暮らすか
土の舞う地に 森田のりえ

時空越えやわらかな光詠まれゆく童話が始まる
皇后の御歌に 草野律子

ナメクジとカミ切り虫の保障付きレース模様の
おいしいキャベツ 摺木洋子

真夏日に避暑地求めて穴を掘り土にもぐりて夢
を見る犬 松元依子

お日様と一緒に走る一本道孫卒業後の幸せ祈り
つつ(卒業式へ出席) 滝川歌子

裏庭に初夏を知らせる朝顔は濃き桃色で鮮やか
な朝 奥本洋子

雪被き朝陽に映える富士の山しばし留めん棚引
く雲を 杉野和子

久々にファミリー集いて墓詣り墓石ピカピカ孫
等がみがく 長谷川公子

スポンジに水を含ませかけたれば轆轤(ろくろ)
の土は輝き回る 矢口裕司